



東京乗馬倶楽部マナー集



2016年夏版



騎乗時の注意事項

会有馬騎乗にあたり次の点をお守り下さい。

1. 騎乗時間を厳守して下さい。
2. 拍車、鞭の使用はインストラクターの指示に従って下さい。
3. 騎乗したら馬装をもう一度点検しましょう。
4. 馬場に入場したら、手綱を緩めまず常歩から始め、ゆっくり馬をリラックスさせましょう。いきなり速歩、駈歩は絶対禁物です。
5. 馬はいつ何に驚くかわかりません。常に注意を払いましょう。
6. 速歩、駈歩をした後には適宜常歩を入れましょう。
7. 手前を時々変えましょう。
8. 馬と馬が対面した場合は左側によけましょう。
9. 運動課目内での常歩を除いて、常歩で騎乗する時、又停止、輪乗りをする時は、他馬に蹄跡をあけましょう。
10. 騎乗中に意味無く止まったり、長時間止まったりして、他の騎乗者を邪魔しないようにしましょう。
11. 混雑時の伸長駈歩は止めましょう。
12. 上級者は初級者を優先させましょう。
13. 騎乗終了5分前になったら、必ず手綱を緩め常歩で馬場をゆっくり周りましょう。
14. 下馬する時に必ず愛撫をしましょう。
15. 常に馬の身になって楽しい乗馬を心掛けましょう。
16. 馬場内が混雑している時は、騎乗場所を制限する事がありますのでご協力下さい。
17. 騎乗の際には充分健康状態に留意して下さい。

乗馬の服装について

・乗馬用ヘルメット

落馬など、万が一の事故に備えて頭部の保護のために、必ず着用してください。
また、顎紐（3点式チンガード）を調節し、弛み無く締めましょう。



・ボディープロテクター

消費者庁通達対応のため、極力着用しましょう。

・靴下

足の保護するため、くるぶしよりも上の長さの靴下をご用意してください。



・グローブ

手綱を持つ手が滑ったり擦れたりなどしないようケガの防止のためにもグローブを着用してください。

・シャツ

形式として、襟付き、袖付きの服を着用してください。

怪我や破傷風の予防、様々な危険防止のため、なるべく肌の露出を少なくして、シャツの裾は必ず入れるようにしましょう。

騎乗時には、★フード付きパーカーの着用
首元にタオルやマフラーを巻かないでください。



★落下時、落馬時に馬を巻き込むリスクが高くなります。

・キュロット

動きやすく伸縮性のある、乗馬専用のズボン（キュロット）を着用してください。ジーンズや作業着、スウェットパンツやラフなズボン、スカートやハーフパンツでは騎乗できません。

・乗馬用ブーツ

脛脚を保護する長靴とし、鐙を安全に踏むために平らな靴底のものが理想です。

ブーツの内側は、馬のおなかと接触するのでジッパーが付いていないもので、特にチャップスは、鐙に引っかかりやすく事故につながりやすいため、原則禁止です。

ウエスタン乗馬用ブーツでは騎乗できません。



馬場の周りでの注意点

- ・馬はとても敏感な動物です。物音や見慣れないものに対して驚くことがあります。
- ・馬場内に馬がいる時には、大きな手荷物やキャスター付きのカート類の持ち運びをご遠慮ください。その他にもレジ袋などの持ち歩きにも注意してください。
また、雨天時でも傘の使用はご遠慮ください。
- ・馬場の周りを通行する時は、静かに歩くことを心がけて、絶対に走らないようにしましょう。
- ・常に馬場内の馬に配慮して、大声を出したり、大きな身振りで歩いたりしないでください。
- ・馬場柵に寄りかかったり、馬場内に身を乗り出したりしないようにしましょう。また、馬場柵を乗り越えたり、くぐったりして馬場内に立ち入らないでください。
- ・馬場内で馬が運動している時は、馬場柵の周囲での見学、撮影等もご遠慮ください。（必要な場合は、インストラクターに相談してください。）
- ・厩舎では必ず犬にリードをつけてください。
- ・犬の糞の始末はご自分で片付けてください。
- ・駐車場では馬が近くにいないか確かめてドアやトランクの開閉・発進に気をつけてください。
- ・駐車場馬場側に停める時は前向きで停めてください。
- ・倶楽部ハウスの真横のスペースは繰り返し用の為、駐車しないようお願いいたします。
- ・倶楽部から道路に出るときは後退で出ないようにしてください。また、止むを得ず後退で出る場合は、歩行者に細心の注意を払ってください。

馬場の出入り口での注意点

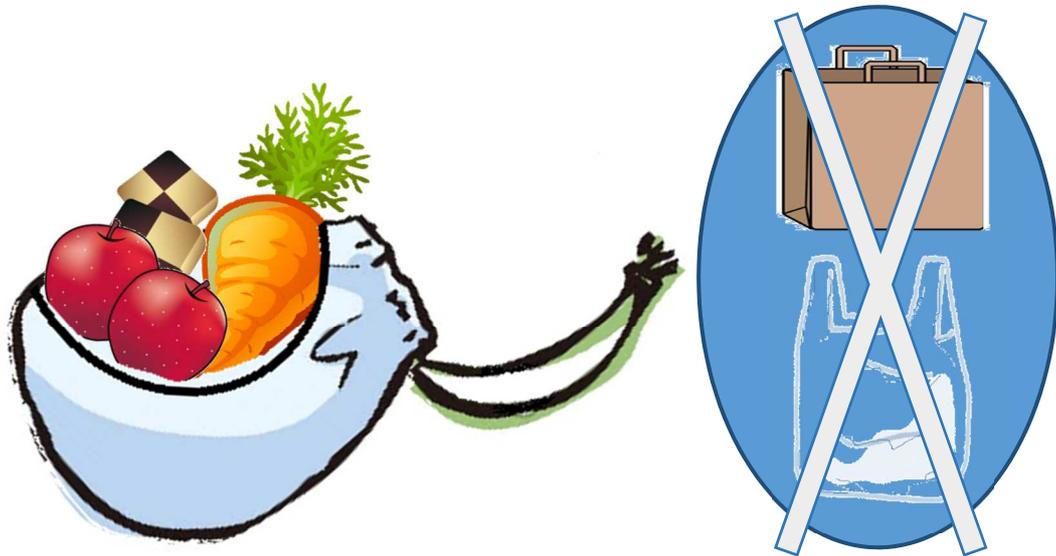
- ・ 乗り降りの際には、馬と騎乗者が平静であることが大切です。
- ・ 他の騎乗者が乗り降りの最中には、お静かにお願いします。

大きな話し声や、用具類の取り扱いに十分注意してください。

特に、鞭は慎重に取り扱いましょう。鞭で音を立てたり、振り回さないよう注意しましょう。
- ・ 馬の後ろには近づかないでください。(蹴られる恐れがあります)
- ・ 乗り降りの最中は馬が動いてしまうと、人馬ともにバランスを崩し大変危険です。基本的には、乗降中の馬の側には近づかないでください。
- ・ 馬場に入る際には、一時停止し左右に十分注意してから入りましょう。

馬におやつを与える時の注意点

馬に人参やリンゴ、馬用ビスケットなどの馬のおやつをあげることは、皆様にとっても馬にとっても楽しみなことだと思います。人参やリンゴは馬たちの食欲をそそり、それ自体はとても良いエサなのですが、馬の性質や行動を理解したうえで与え方を考えることが非常に重要です。



・馬のおやつをもってくる時は、音のしない袋で、なるべく中身の見えない袋に入れましょう。

馬たちが「おやつをもらえそう・・・」だと思っている時は、紙袋やビニール袋のこすれる音だけで前掻きを始めます。

馬房の中で周りの馬も一緒に興奮し、蹴り合いを始める場合もあり、馬たちが思わぬ怪我をしてしまうことがあります。



- ・馬のおやつをあげるときは、インストラクターの指示に従ってください。
おやつをあげるときは飼桶に入れてから馬に与えましょう。
人の手から直接人参やリンゴ、ビスケットなどを与えることは馬たちに「じやれる」ことを覚えさせます。それがいずれ人に噛み付く癖を覚えさせることにつながる恐れがあります。
おやつを飼桶に入れて与えることで、他の馬たちもおやつを見て興奮することが少なくなります。
- ・手入れ中や蹄洗場につながれている馬たちにおやつをあげることは、前掻きを覚えさせることにもなりますので自馬・会有馬を問わず避けてください。